

# 平成 25 年度第 5 回一関市医療と介護の連携連絡会研修会

## アンケート調査結果

### 1 開催状況

- (1) 日 時 平成 26 年 2 月 8 日 (土)  
14:00~16:30
  - (2) 場 所 一関市役所花泉支所 4階 東大会議室
  - (3) 目 的 医療と介護の円滑な連携
  - (4) 対象者 医療関係者、高齢者施設従事者、介護サービス事業関係者、行政関係者等
  - (5) 参加者 52 名
  - (6) 主 催 一関市医療と介護の連携連絡会
  - (7) プログラム
- 

## 平成 25 年度 第 5 回一関市医療と介護の連携連絡会研修会

日時:平成 26 年 2 月 8 日(土)

14:00~16:30

場所:一関市役所花泉支所  
4階 東大会議室

### 次 第

1 開 会 14:00

2 挨 拶

3 グループワーク 14:05~16:30

テーマ「在宅における服薬管理」

グループワーク講師 千厩調剤薬局管理薬剤師 飛沢 洋 氏 14:05~15:00

グループワーク作業 15:00~16:00

プレゼンテーション、討議 16:00~16:30

4 閉 会 16:30

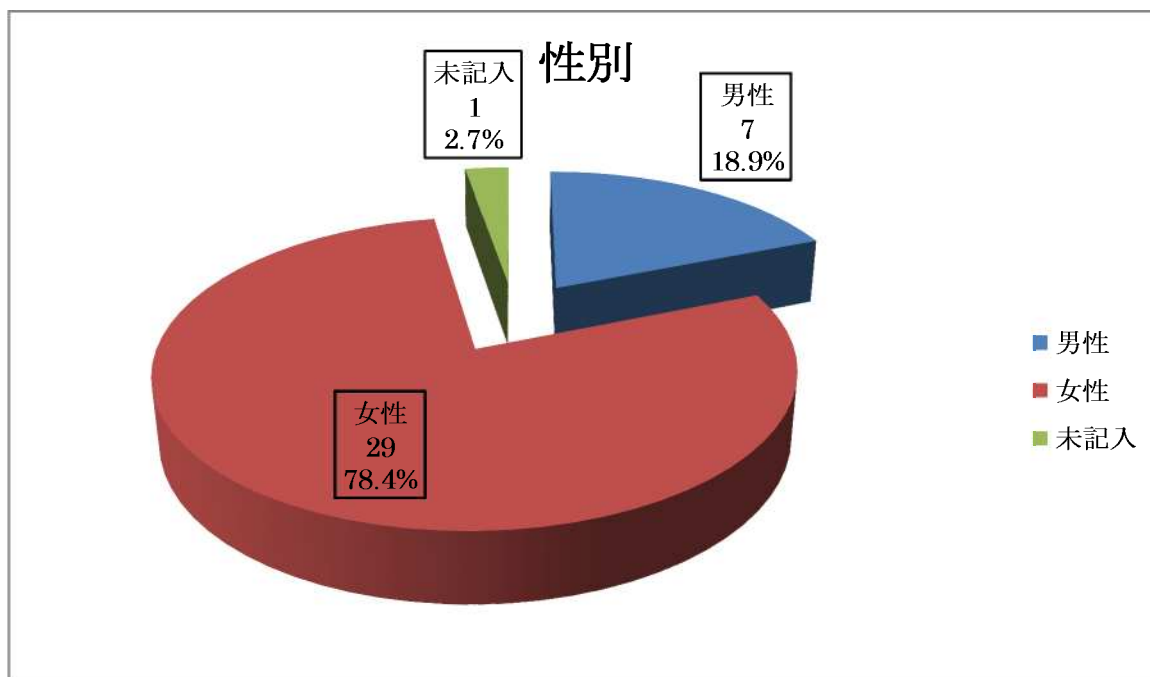
---

## 2 アンケートの集計結果

回答者数 37 人 (回収率 71.2%)

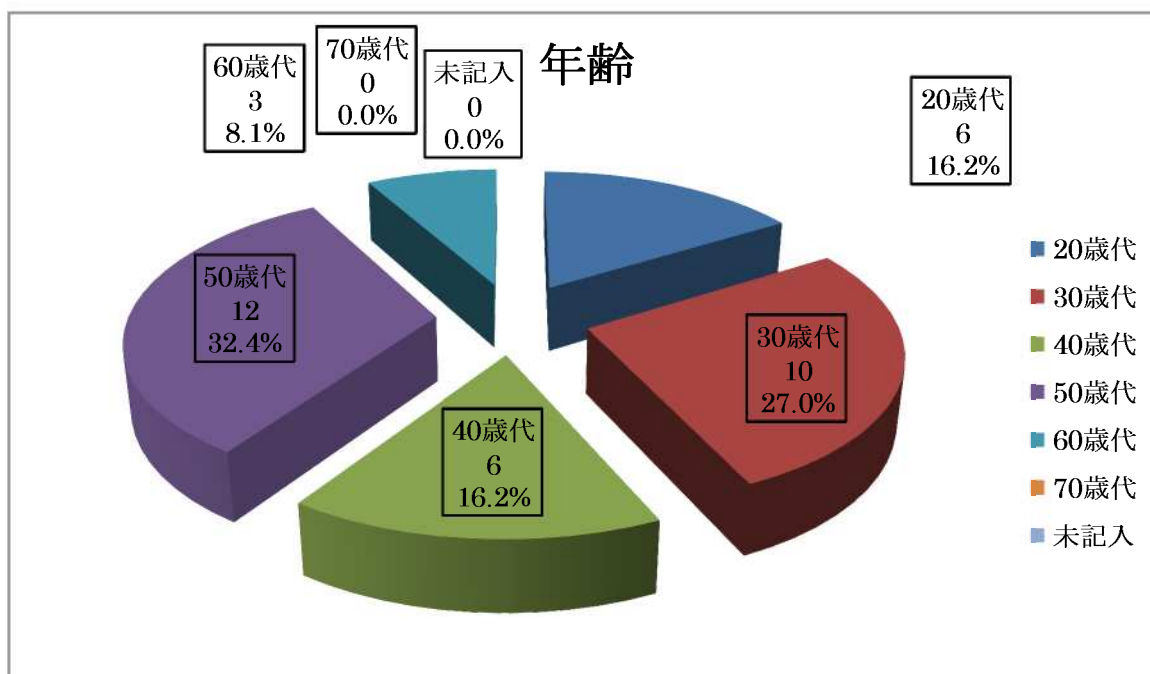
### 質問1 性別

男性 7 人 (18.9%)  
女性 29 人 (78.4%)  
未記入 1 人 (2.7%)



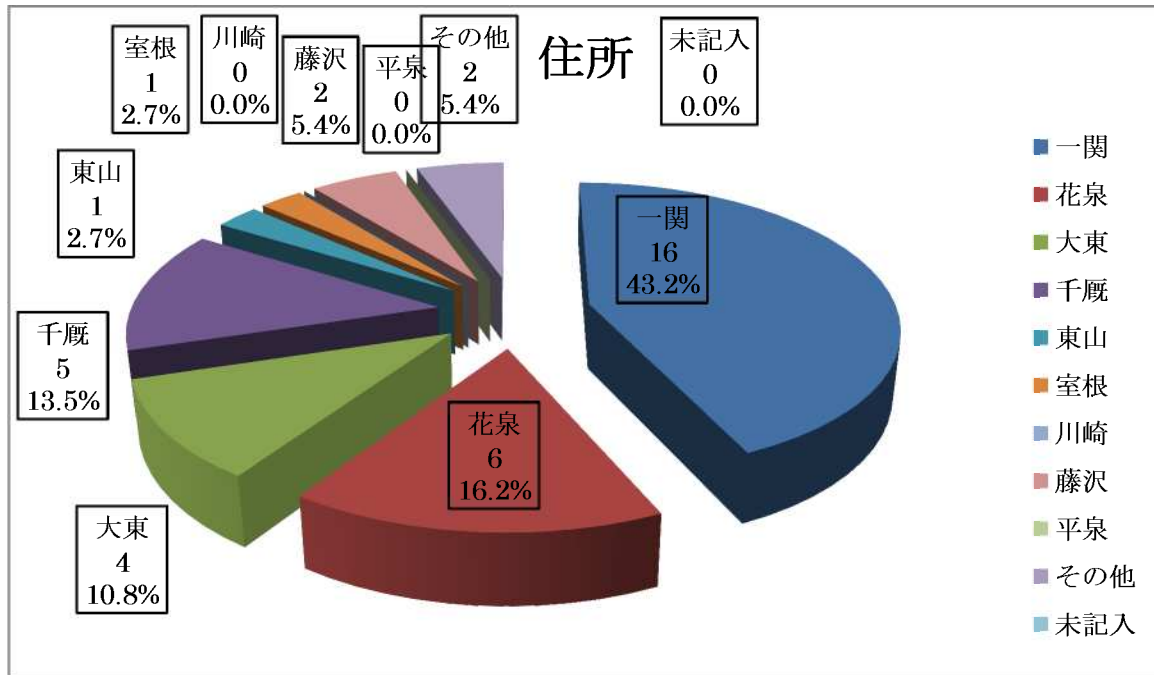
### 質問2 年齢

20歳代	6 人 (16.2%)	30歳代	10 人 (27.0%)
40歳代	6 人 (16.2%)	50歳代	12 人 (32.4%)
60歳代	3 人 (8.1%)	70歳代	0 人 (0.0%)
未記入	0 人 (0.0%)		



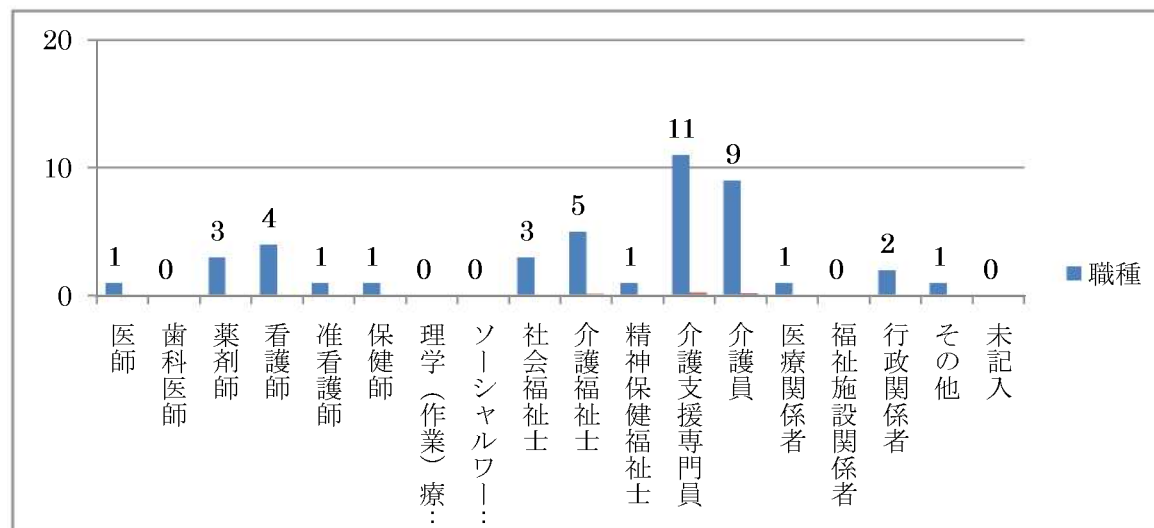
質問3 住所

一関	16人 (43.2%)	花泉	6人 (16.2%)
大東	4人 (10.8%)	千厩	5人 (13.5%)
東山	1人 (2.7%)	室根	1人 (2.7%)
川崎	0人 (0.0%)	藤沢	2人 (5.4%)
平泉	0人 (0.0%)	その他	2人 (5.4%)
未記入	0人 (0.0%)	その他	(栗原市1人、奥州市1人)



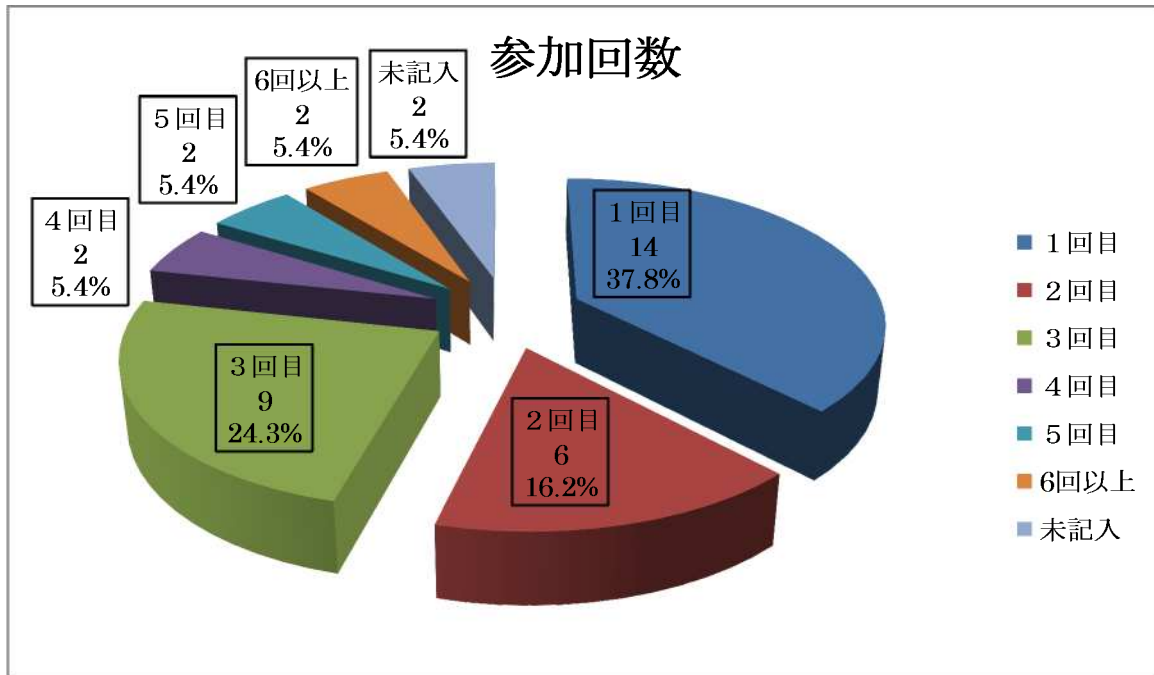
質問4 職種

医師	1人 (2.3%)	歯科医師	0人 (0.0%)
薬剤師	3人 (7.0%)	看護師	4人 (9.3%)
准看護師	1人 (2.3%)	保健師	1人 (2.3%)
理学(作業)療法士	0人 (0.0%)	ソーシャルワーカー	0人 (0.0%)
社会福祉士	3人 (7.0%)	介護福祉士	5人 (11.6%)
精神保健福祉士	1人 (2.3%)	介護支援専門員	11人 (25.6%)
介護員	9人 (20.9%)	医療関係者	1人 (2.3%)
福祉施設関係者	0人 (0.0%)	行政関係者	2人 (4.7%)
その他	1人 (2.3%)	未記入	0人 (0.0%)



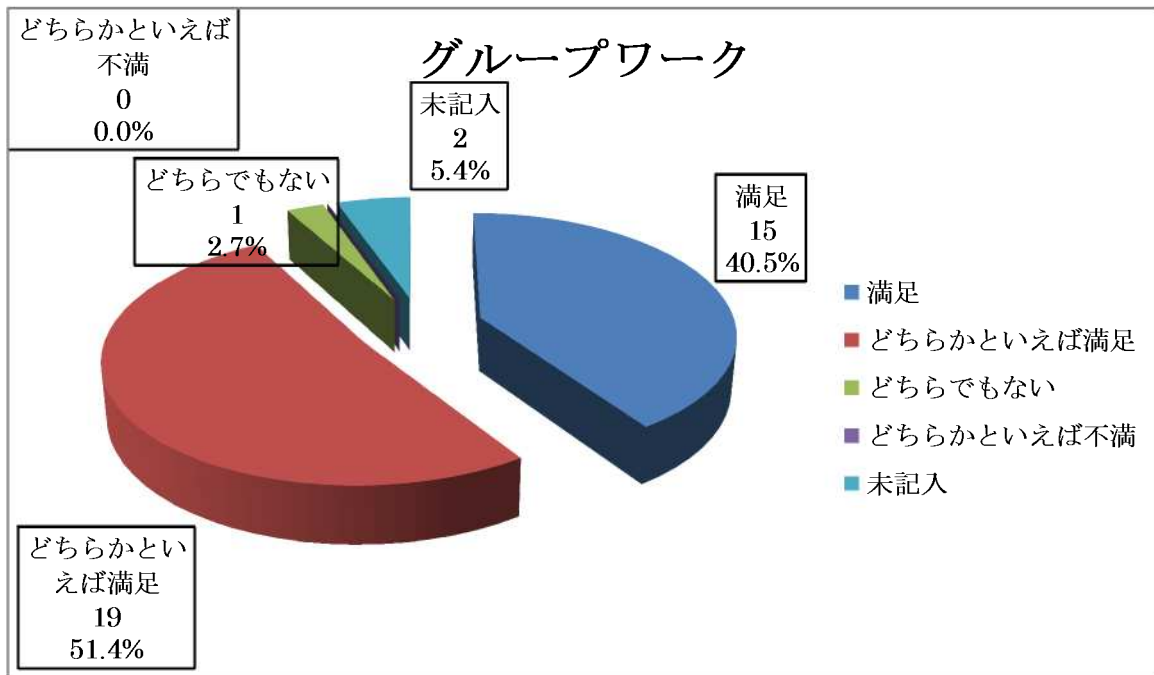
質問5 参加回数

1回目	14人 (37.8%)	2回目	6人 (16.2%)	3回目	9人 (24.3%)
4回目	2人 (5.4%)	5回目	2人 (5.4%)	6回以上	2人 (5.4%)
未記入	2人 (5.4%)				



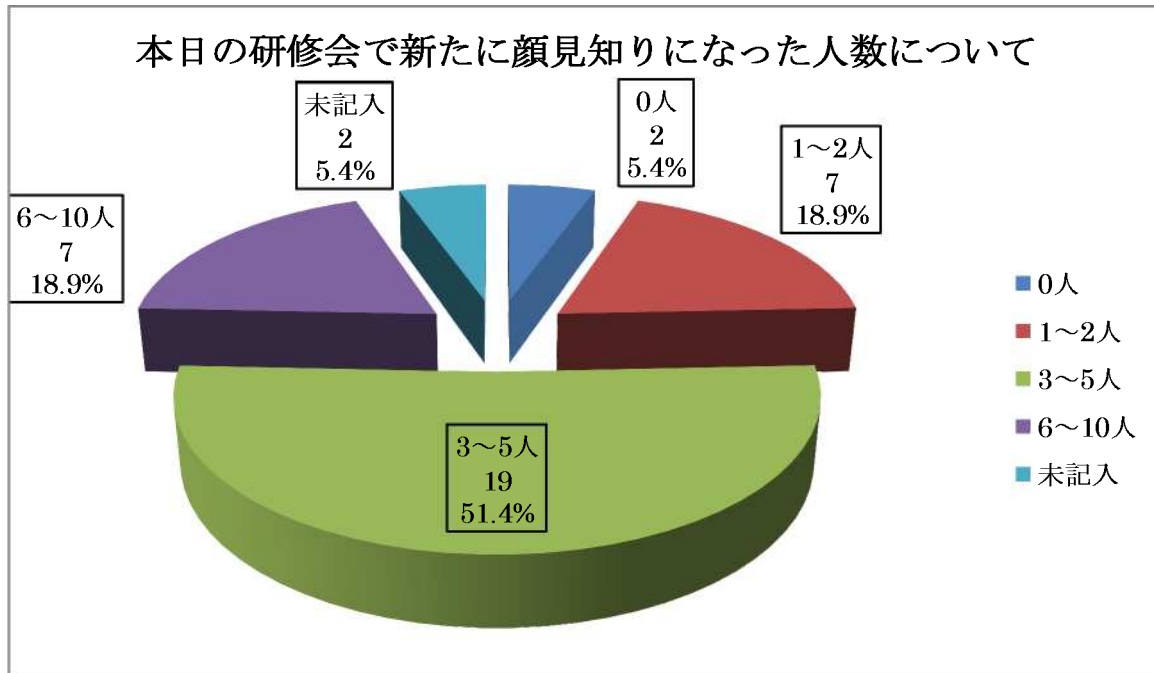
質問6 グループワークについて

満足	15人 (40.5%)	どちらかといえば満足	19人 (51.4%)
どちらでもない	1人 (2.7%)	どちらかといえば不満	0人 (0.0%)
未記入	2人 (5.4%)		



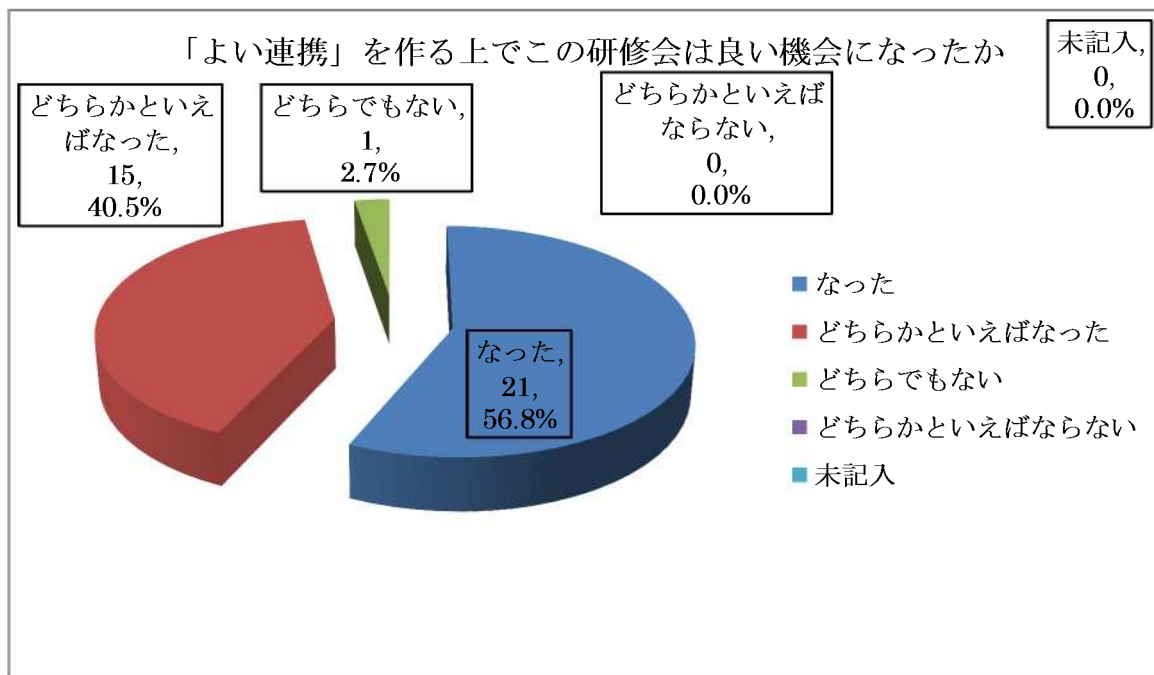
質問7 本日の研修会で新たに顔見知りになった人数について

0人	2人 (5.4%)	1~2人	7人 (18.9%)
3~5人	19人 (51.4%)	6~10人	7人 (18.9%)
未記入	2人 (5.4%)		



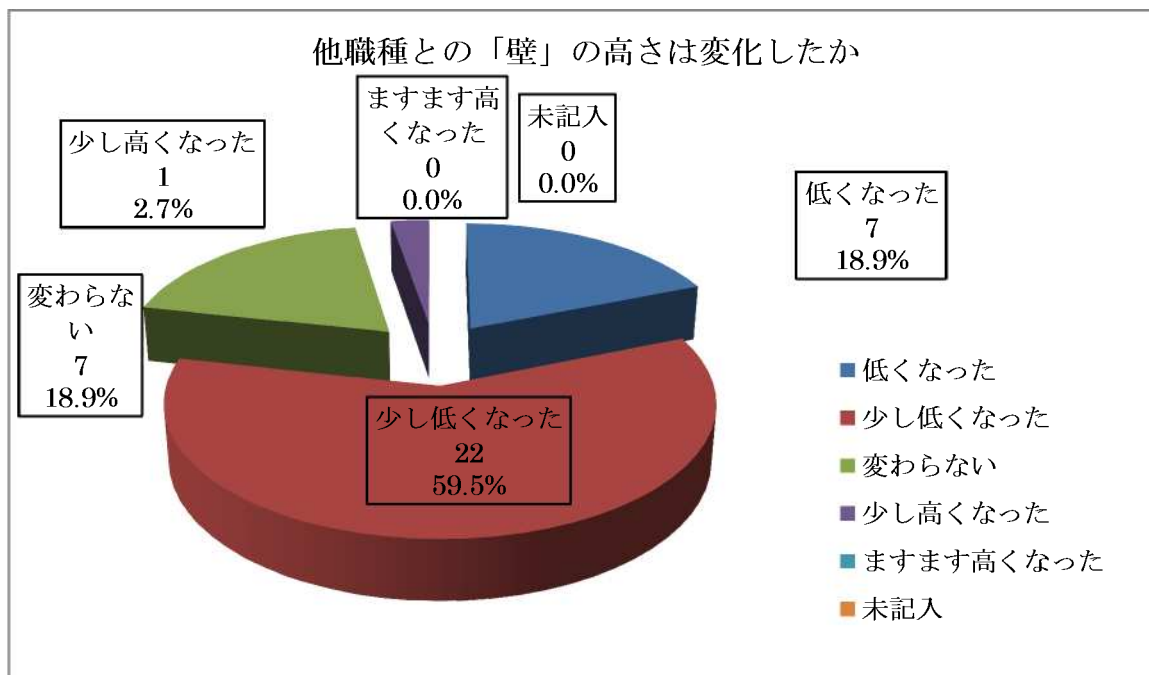
質問8 「よい連携」を作る上でこの研修会は良い機会になったか

なった	46人 (37.7%)	どちらかといえばなった	46人 (37.7%)
どちらでもない	22人 (18.0%)	どちらかといえばならない	1人 (0.8%)
未記入	7人 (5.7%)		



質問9 他職種との「壁」の高さは変化したか

低くなった	7人 (18.9%)	少し低くなった	22人 (59.5%)
変わらない	7人 (18.9%)	少し高くなった	1人 (2.7%)
ますます高くなった	0人 (0.0%)	未記入	0人 (0.0%)



質問10 医療と介護の連携に必要なことは何だと思えますか？ご意見をお聞かせ下さい。

(医師)

- ・ 枠をつくったが、魂を入れなければならない。
- ・ 全体を overview するような報告をして欲しい。

(薬剤師)

- ・ 情報共有が必要。
- ・ 話をする機会を積極的に作る。
- ・ 密な連携が必要である。  
薬剤師としての仕事があることが見えて、参加してよかったと思いました。勉強になりました。

(看護師)

- ・ お医者さん、薬剤師さんの情報共有がまず必要で、その上で我々の方との共有があり、また我々と家族、利用者さんとの情報共有がほしいと思います。
- ・ それぞれの職種間での情報共有。

(社会福祉士)

- ・ 懇談会。

(介護福祉士)

- ・ 利用者、家族と介護サービスに関わる人達と話す機会を増やす。
- ・ 同じ席で顔を合わせて情報を共有する事が大事だと思った。
- ・ 相談や会議が必要だと思います。
- ・ いつもいらっしゃる Dr は同じですね。

(介護支援専門員)

- ・情報の共有（色々な職種）。
- ・定期的な意見交換の場が必要。
- ・必要な情報交換。
- ・一緒に話し合う場。
- ・やはり顔と顔が見える関係が大切だと思います。
- ・利用者、患者の情報共有。
- ・地域の医師の介護への理解。

(介護員)

- ・情報の共有。
- ・健康手帳について話が出ましたが、とても良い事だと思いました。
- ・情報の共有。
- ・介護員の立場として考えると、我々は医療的な事にはほとんど関与できません。介護員が生活的な援助をするのに対し、医療の方々はその方面で利用者の援助をするのでお互いが連携しなければ、より良い援助は出来ないと思います。

(医療関係者)

- ・情報共有。

(その他)

- ・情報共有。壁がないこと。横のつながり。

質問 11 一関市で取り組んでほしいことや、医療と介護の連携連絡会等で希望する研修内容やテーマをお聞かせ下さい。

(薬剤師)

- ・薬剤師も関わっていける様な研修をお願いします。

(看護師)

- ・栄養。

(社会福祉士)

- ・今回のような内容、従事者自身がリフレッシュするような内容。（体を動かしたり）

(介護福祉士)

- ・薬局と Dr との連携がとれているように感じました。ケアマネとして有効にしていきたいと思いました。

(介護支援専門員)

- ・看取りを在宅で行う事。
- ・胃ろう造設について。
- ・ターミナルケアについて。
- ・行政制度について。

(介護員)

- ・健康手帳などの情報の共有などについて。

(その他)

- ・ヘルパーの研修（現場ヘルパー向け、サ責向け）を企画して下さい。

## 自由記載欄

### (医師)

- ・グループワークのファシリテーターの工夫が必要。外から歩いて回るのではなく、内部に入った方が良い。

### (介護福祉士)

- ・グループワークの進め方をわかりやすく記載して欲しい。(初めてお会いする方もいますので)

### (行政関係者)

- ・服薬者、介護者が薬の消費期限を常に分かるように表示を工夫してもらいたい。